



ホテル日航東京で行った学会長主催パーティにも多くの参加を頂きました。

第102回日本美容外科学会学会長挨拶



この度、第102回日本美容外科学会学会長という大役を務めさせていただくことになった山川雅之です。先に東京ビッグサイトで行われました第101回日本美容外科学会は、梅澤文彦会頭、真崎信行学会長をはじめとした多くの関係各位のご尽力により、盛況を以て終えることが出来ました。新体制のもと、新しい専門医制度も始動し、本学会会員数もついに1000名を超え、一般社団法人として次の発展のステージへと進む事となりました。学会員の皆様、取組み先の皆様、誠にありがとうございます。ご存知の通り、我々、日本美容外科学会(J.S.A.S.)は、黎明期の美容外科の土台を構築された十仁病院系をルーツに持つ開業医を中心とした学会です。

美容外科は、自由診療という特殊性から、ほとんどの患者様は、大学ではなく開業医のもとに集まるといふ現状があります。

それゆえ我々J.S.A.S.の会員たちは、それぞれのクリニックで、日々、圧倒的な症例数とそれによる経験、失敗を蓄積しています。

これらのノウハウを我々は、惜しみなく共有し、美容外科の更なる発展に貢献しなければなりません。

梅澤会頭の唱えた「一党一派に偏らず、患者さまの幸せを考えた健康美を追及する」という学会の基本理念を継承し、美容医療に携わる全ての科が、垣根を越えて叡智を結集する場にしたいと思います。

日本は高い医療サービスと充実した国民皆保険を誇ってきましたが、もはや保険診療制度だけでは、世界規模で進む先進医療へのキャッチアップが困難になりつつあります。

今後は保険診療制度を補完する自由診療の分野が、美容外科を筆頭として大きな役割を担っていくようになります。

美容外科は、技術的にもモラル的にも、他科にましてより責任のある診療科であり、顧客満足のために一切の言い訳は出来ません。

その上で自由競争の中、各々が厳しい淘汰を生き抜いてきたという実績があります。

我々は、自由診療の先駆者として、発展する先進医療の分野全体を俯瞰し、リーダーシップをとって行こうではありませんか。

私は新しい世代の学会長として、もう過去の会派の対立など、些細なしがらみを捨て、美容外科の発展に志を持つすべての医師、関係者に広く門戸を開放し、あらためて本学会への参加、結集を呼びかけたいと思います。

■ 第102回日本美容外科学会のご案内

◆ 会期：2014年6月7日(土)・8日(日)

◆ 会場：東京ビッグサイト 会議棟 1F

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 TEL:03-5530-1111 (代表) <http://www.bigsight.jp/>

◆ 演題募集要項(全て日本語・英語を併記してください) 抄録提出期限:2013年12月31日(一次募集締切)

1.発表者氏名(ふりがな) 2.医療機関名 3.医療機関所在地 4.演題名 5.抄録(和文800字、英文300語、併記) 6.連絡先住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス
※1から5は学会の前に発送されるプログラム・抄録集に掲載されます。※共同発表の場合には、演者名に下線を付してください。※演題発表の申込みは、学会の参加登録をした場合に限り受け付けます。
使用機材:コンピュータプレゼンテーションのみ可能。データをUSBメモリまたはCD、DVD等に入れてお持ち下さい。
演者発表時間:10分(演題発表の7分、前演者との交代時間&質疑応答等の時間として3分設けます)

◆ 日本美容外科学会公式 facebook ページ

<http://www.facebook.com/pages/日本美容外科学会/525959570774927?ref=hl>

2013年
7月1日(月)
第008号
財団法人 日本美容医学研究会
日本美容外科学会事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座
8-10-8 銀座8丁目10番ビル6階
Tel.03-3571-1270



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会
公式新聞

今月号の
主なお知らせ

第101回日本美容外科学会

第101回日本美容外科学会 ご協力ありがとうございました

御 礼

第101回日本美容外科学会
学会長 真崎信行

第101回日本美容外科学会が500人を超える参加者と74社のご協賛の下に盛大に開催できましたことを先ずもってお礼を申し上げます。

私は、1年前に、梅澤文彦理事長から学会長という大役を仰せつかって以来、わが国の美容外科を取り巻く環境とりわけ制度的問題点、美容外科医師の立場など現状把握と問題提起に向けて取り組んでまいりました。

一方で、昭和41年設立され、長きにわたり諸先輩方のご努力によって引き継がれてきた由緒あるわが日本美容外科学会、だからこそ合併問題や美容外科に関わる行政対応など直面する問題が山積する日本美容外科学会はどうあるべきか、この

101回学会で将来に向けての方向性を示すことができるか。私は、この突き付けられた大きなテーマを1年間、一から学ぶことによって根底からそして多方向から見つめなおすことができました。

その間、もとより浅学非才な私に対して、理事、会員の先生方はじめ多くの方々から心からなるご指導ご協力をいただきました。皆様のご支援がなければこれだけの大仕事は到底成し遂げることができませんでしたことを身を以て痛感しております。あらためて衷心よりお礼を申し上げます。

さて、当学会は4月1日より一般社団法人としてリニューアルスタートしました。

従前よりの学術団体としての事業内容はそのまま、より開かれた学会つくりのため、会員の皆様のご意見に傾注し、会員の意向を重んじて会を運営していく姿勢を鮮明にし、会員との情報の共有を図っていくために、学会ホームページをより見やすい形にしましたし、学会新聞を発行しています。

また、本年は専門医認定審査を学会に併せて同会場で行いましたところ、予想を超える受験者がありました。厳格な認定審査が行われておりますが、合格された方は、専門医として相応しい言動をもって指導的立場で一層のご活躍を期待します。

今後は一理事として学会運営にあたり、事業を発展拡充してまいる所存ですので、会員の皆様のご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。

おわりに次回第102回日本美容外科学会は、来年6月に今回と同じ東京ビッグサイトで、山川雅之先生を会長に頂き開催することが決まりました。次回もよろしく申し上げます。

末筆ながら会員の皆様の一層のご発展をご祈念申し上げましてお礼の辞とさせていただきます。



今回の学会では著名な先生方をお招きし講演だけでなく、パネルディスカッションなどにも時間を作りました。



学会会場入口



メイン会場 (Room A)